

臼杵市 施策評価シート (令和元年度)		評価 担当者	課名 学校教育課	氏名 後藤 徳一	内線 3110
コード	V-12-29	施策名	学校と地域、家庭の連携の推進		
施策の方針	ふるさとを担うたくましい人材を育てる				
まちづくりの方針	磨き輝き続ける市民がつながり、臼杵っこが育つまち(学び)				
施策の目的	「子どもは地域の宝」であることを大人が再認識し、子どもを見守ることができるように、学校・地域・家庭の役割分担を明確にし、学校と地域・家庭の連携を強化します。地域が教育に関わることにより、子どもたちが郷土に誇りを感じ、「うすき大好き臼杵っこ」がまちに溢れることを目指します。学校や公民館を拠点として高齢者が伝統や文化に関する知識や技能を子どもや地域に還元する仕組みをつくり、子どもから高齢者までが連携して活動することにより、学校と地域の連携を強く推進していきます。				
施策の内容	・学校・地域・家庭がつながりを深め、教育活動にゆとりを持たせるため、年6回土曜日に授業を行ないます。 ・地域の方々が生先生となって教える、放課後子ども教室を開催します。 ・学校・地域・家庭の連携を深めるため協育ネットワークを構築します。 ・身についた知識や技術を地域社会に還元する仕組みづくりを行います。				

＜指標＞

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
				単位	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	臼杵ふれあい学校など、学校の活動を地域の人と一緒にを行う学校の割合	市内小中学校で、地域の人と一緒に活動を行う回数が年間3回以上実施する学校の割合	目標	%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	%	—	100.0	100	100	100	100.0
			達成率	%	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	地域活動に参加した小学生の割合	全国学力・学習状況調査(小学校6年生対象)	目標	%		60	60	65	65	70.0
			実績	%	59	57	61	53	55	73.5
			達成率	%	—	95.0%	101.7%	81.2%	84.6%	105.0%
	地域活動に参加した中学生の割合	全国学力・学習状況調査(中学校3年生対象)	目標	%		60	60	65	65	70.0
			実績	%	59	57	61	53	55	50.2
			達成率	%	—	95.0%	101.7%	81.2%	84.6%	71.7%
	放課後児童クラブ開設率	小学校区において放課後児童クラブを開設している割合	目標	%		100	100	100	100	100.0
			実績	%	85	85	85	85	85	100.0
			達成率	%	—	84.6%	85.0%	85.0%	85.0%	100.0%
	「協育」や「健全育成」に関する学習会・研修会の回数	学校・地域・家庭が協力する「協育」を推進するための学習会や研修会の実施回数	目標	回		6.0	9.0	9.0	9.0	10.0
			実績	回	—	8.0	8.0	9.0	9.0	10.0
			達成率	%	—	133.3%	88.9%	100.0%	100.0%	100.0%
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の分析		地域に開かれた学校づくりのために、年6回の臼杵ふれあい学校を実施し、学校・地域・家庭がつながりを深めました。児童生徒の基礎学力の定着を図るために、地域の人材を活用した放課後子ども教室や中3生教室を開催しています。協育コーディネーターを活用し、学校・地域・家庭の連携を深める協育ネットワークづくりを推進していますが、地域の子どもは地域で育てる機運を高め、自らの知識や技術を見童生徒に還元する仕組みづくりの強化が必要です。								

＜市民意識調査結果＞

	領域名	必要度	満足度	満足度
市民意識調査結果 (R1調査)	維持領域	2.29	1.56	
	・令和元年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに高く、「維持領域」に位置しており、取り組みの維持・継続が望まれています。			
市民意識調査結果分析	・令和元年度実施のアンケート結果では、「維持領域」に位置するものの、満足度を高める取り組みは必要であると考えられます。臼杵の将来を担う人材を、学校や地域の特色を生かして、学校と地域と家庭が協働でつながりを深めながら継続して取り組んでいく必要があります。			

＜次年度以降の課題＞

令和2年度以降の課題	令和2年度から市内の小中学校のすべてがコミュニティスクールとなり、学校目標を学校・家庭・地域が共有認識し、協働で学校運営を行うこととなります。年6回開催予定の臼杵ふれあい学校を活用し地域に開かれた学校づくりを一層推進する必要があります。協育コーディネーターが学校と家庭・地域とつなぐ協育ネットワークをさらに推進し、地域人材を活用しながら地域の特色を生かした学校づくりが必要です。一方で、教職員の働き方改革や授業時間の確保が必要であり、地域人材の育成や協力体制の確立などの仕組みづくりにも必要です。
------------	--

＜施策を構成する主な事務事業一覧表＞

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費（単位：千円）			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み			
1	総合学習補助金交付事業	学校教育課		2,147	2,122	2,118	継続	○	V-12-27
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				2,147	2,122	2,118			

＜施策の今後の展開 ～担当課長評価＞

進捗状況	地域に開かれた学校づくりや地域の特色ある学校運営を行うコミュニティスクールの内容を充実させる必要があります。小中学生の郷土愛を育て、地域に愛着と誇りを持たせるためにも、臼杵ふれあい学校を活用して、学校と家庭・地域が協働で「地域の子どもを地域で育てる」機運を高め、地域人材の育成や活用の機会を充実させていく必要があります。	課長評価
概ね順調		目標を達するため、現状維持とする

＜施策の今後の展開 ～内部評価（内部検討会）＞

進捗状況		内部評価
—		—

＜臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価：最終＞

評価のコメント	外部評価
	—

＜臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組＞

--